

会 議 事 録

1 会議名	令和4年度長岡市地方創生推進会議幹事会
2 開催日時	令和4年10月25日（火）午後2時から午後3時まで
3 開催場所	アオーレ長岡西棟4階 第二委員会室
4 出席者名	<p>（委員）（敬称略）</p> <p>長岡商工会議所 事務局次長 長谷川 和明 長岡地域商工会連合 事務局長 早川 泰 長岡公共職業安定所 業務部長 笠原 博光 長岡技術科学大学 事務局次長 渡邊 信也 長岡工業高等専門学校 事務部長 西村 泰雄 長岡造形大学 総務課長 野上 浩史 長岡崇徳大学 学長 森 啓</p> <p>商工組合中央金庫長岡支店 次長 吉田 智仁 大光銀行 地域産業支援部 地方創生推進室長 稲田 俊祐 第四北越銀行 コンサルティング事業部 副部長 瀬賀 知文 長岡信用金庫 営業推進部 課長 河田 大介 新潟県信用組合長岡支店 支店長 桑原 優 日本政策金融公庫長岡支店 支店長 浅沼 靖司 連合新潟中越地域協議会 副議長 横澤 勝之 新潟日報社長岡支社 執行役員支社長 大塚 清一郎</p> <p>（事務局）</p> <p>長岡市 地方創生推進部長 竹内 正浩 政策企画課 課長 目黒 麻子 政策企画課 課長補佐 早川 裕之 政策企画課 主任 田中 裕也</p> <p>（説明のために出席した市担当者）</p> <p>長岡市 ミライエ長岡開設準備室 企画担当課長 松尾 典子 ミライエ長岡開設準備室 事業担当課長 間嶋 晃洋</p>

	<p>福祉総務課 課長 吉田 孝行 長寿はつらつ課 課長補佐 遠藤 一夫 産業イノベーション課 課長補佐 酒井 億 産業支援課 課長 河上 雄一 産業立地課 課長補佐 長谷川 正裕 観光企画課 課長 高野 徹也 国際交流課 課長 松木 祐子 農水産政策課 課長 曾根 徹 学校教育課 課長 佐山 靖和 子ども・子育て課 課長 深澤 寿幸</p>
5 欠席者名	長岡大学
6 議事	<p>(1) 第2期長岡版総合戦略の進捗状況について (2) 地方創生関連の交付金等の効果検証について</p>
7 報告	なし
8 審議結果の概要	議事(1)、(2)について、事務局から概要を説明し、意見交換が行われた。
9 審議の内容	
事務局：政策企画課・課長補佐	<p>本日はお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。ただいまから令和4年度長岡市地方創生推進会議幹事会を開催いたします。</p> <p>本日の会議は、後日ホームページで議事録を公開する予定となっておりますので、あらかじめご承知おきください。</p> <p>本日は3年ぶりの開催になりますので、出席者様のご紹介をさせていただきます。お名前を読み上げますので、その場でご起立をお願いいたします。</p> <p>(出席者紹介)</p> <p>それでは、開会にあたり、長岡市地方創生推進部長の竹内よりご挨拶申し上げます。</p>
事務局：地方創生推進部長	<p>本日はご多忙のところ、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日は皆様のお手元にもお配りしております、地方創生推進交付金制度のもととなっております長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況につきまして、皆様方にご報告の上、また各界でご活躍の</p>

<p>事務局：政策企画 課・課長補佐</p>	<p>皆様方からそれぞれの現場での現状を踏まえたご意見等いただきまして、今後の政策に生かしていきたいと考えておりますので、お忙しい中本当に貴重なお時間大変申し訳ありませんが、どうぞこの後、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは議事に入ります前に、お手元に配布してございます資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(資料確認)</p> <p>不足はございませんでしょうか。それではこの後、議事に移らせていただきます。</p> <p>本日の議事1つ目になります、第2期長岡版総合戦略の進捗状況につきまして、関係各課よりご説明させていただきます。</p>
<p>事務局：政策企画 課・課長</p>	<p>長岡版総合戦略について概要を説明させていただきます。</p> <p>こちらの長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略については、平成27年度に第1期を策定しまして、現行の第2期長岡版総合戦略については、皆様からご意見をいただきながら、令和2年3月に策定しまして現在3年目を迎えております。初めてご出席される方もいらっしゃると思いますので、簡単にご説明させていただきます。</p> <p>第2期長岡版総合戦略につきましては、長岡版イノベーションの推進を戦略推進の共通の視点としまして、この視点に基づく6つの戦略から、人口減少に歯止めをかけ様々な施策を実施していく計画としております。</p> <p>長岡版イノベーションでは、変化の波を的確にとらえ、従前にとらわれず、市民生活の向上と、産業の活性化を実現することを基本的な考えとしております。長岡版イノベーションの目的・方針については、下段に4つ書いてあります。産業振興・起業の促進、人材の育成、市民生活の向上、行政事務の効率化となっております。</p> <p>新型コロナの影響等がございますが、このような社会の変化も踏まえながら、新たな発想や先端技術を取り入れることで、長岡版イノベーション推進していきたいと考えております。</p> <p>第2期総合戦略におきましては、戦略1の若者定着から戦略6の安全安心まで、6つの戦略を柱として、各戦略で目標を設定しまして、地方創生に取り組んでおります。</p>

<p>ミライエ長岡開設準備室・事業担当課長</p>	<p>令和3年度の数値目標の実績についてご説明させていただく前に、令和2年度の実績値に、修正が2点ございましたのでご説明いたします。</p> <p>戦略1、若者定着の数値目標について、市内4大学1高専15専門学校の市内就職率について、昨年度お配りしました会議資料では22%と報告させていただきましたが、算出方法に誤りがありまして、正しくは表示の通り20.0%となります。</p> <p>また、戦略4、働くの数値目標、担い手農家の農地利用割合については、昨年度資料では69%と報告させていただいておりましたが、こちらも参照方法に誤りがありまして、正しくは66%となりますので、修正させていただきます。大変申し訳ありませんでした。</p> <p>続きまして、令和3年度の実績値についてご説明いたします。</p> <p>全体としましては、令和3年度も引き続きコロナ感染症の影響等により、本来想定しておりました事業を実施できず、目標値を大きく下回るような指導もありました。目標達成に向けて順調に推移している所もありますが、目標達成のために継続した取り組みが必要と考えております。</p> <p>個別の数値目標についてご説明いたします。</p> <p>まず戦略1、若者定着の数値目標の1つ目、15歳から34歳の若年層の提出に対する転出者超過率については、目標値105%に対し、令和3年度は115.3%となっており、目標値に対して下回る状況となっております。人口減少対策は効果や影響が現れるまで時間を要しますので、継続した取り組みが必要と考えております。</p> <p>数値の動向について、今後また分析を重ねまして、引き続き4大学1高専15専門学校との連携事業や長岡の魅力発信、UIターン促進等により、市内外の若者定着に向けた取り組みを進めていきたいと考えております。</p> <p>今日は兼務しております、ながおか・若者・しごと機構の事務局長という立場で出席させていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>市内4大学1高専15専門学校の市内就職率でございますが、こちら前年度、令和2年度は20.0%でしたが、今回19.2%に低下いたしました。</p> <p>この原因でございますけれども、市内に15の専門学校がございますが、その一つに長岡崇徳福祉専門学校様、旧長岡看護福祉専門学校がございます。</p>
---------------------------	---

<p>子ども・子育て 課・課長</p>	<p>こちらの看護学科は長岡崇徳大学様の開学に伴い、募集停止となりまして、令和2年度に最後の卒業生を輩出してございます。</p> <p>こちらの学校はこれまで市内就職率が高うございましたので、引き続き令和3年度も看護学科があったという仮定で試算いたしますと、数値は前年度並みの結果となりました。</p> <p>このような特殊要因がございましたので、原因分析欄にその旨記載したところでございます。</p> <p>長岡崇徳大学様は、今年度末に初めての卒業生を輩出されます。今後は高度な看護技術を身につけた学生が地元へ就職されることを願っておりますが、来年度の調査結果を待ちたいと思います。</p> <p>今後の対応でございますが、首都圏企業による長岡へのサテライトオフィス進出や、長岡ワーカーのように、リモートワークを活用した働き方など、地方で働きやすい環境が整いつつありますので、これを追い風に、若者の地元定着に向けた取り組みを進めて参りたいと思います。</p> <p>なお数値の分母となります市内就職者数ですけれども、毎年約1,500人でございます。ですので約100分の1の15人が動きますと、1%変化するというような状況でございます。目標の25%に向けて、なるべく多くの方から市内に就職してもらいたいと考えているところでございます。</p> <p>戦略2、子育ての環境や支援の満足度についてでございます。</p> <p>こちらの当初値の78.5%につきましては、本市の子育て政策の基本方針を定めました長岡市子育て・育ち”あい”プランの現行の第2期計画の策定に当たりまして、平成30年度に実施しましたニーズ調査の結果の数値でございます。</p> <p>目標値の85%につきましては、その結果を踏まえまして、令和5年度に目指すべき数値として設定した数値でございます。</p> <p>この評価につきましては、現行の第2期長岡市子育て・育ち“あい”プランの計画期間が、令和6年度で終了する予定となっておりますので、表に記載の通り令和5年度に次期の長岡市子育て・育ち“あい”プラン策定の際の、基礎資料として実施する予定の調査結果をもとに評価を行うこととしております。</p> <p>また参考といたしまして、毎年12月頃に前年度の取りまとめ結果を県が公表しております都市保健事業にかかる実施状況等調査というものがございまして、その一環として、全国の自治体において4ヶ月</p>
-------------------------	---

<p>学校教育課・課長</p>	<p>児とを1歳6ヶ月児、そして3歳児の各健康診査の際に、保護者に対するアンケートを実施しております。</p> <p>その設問の一つとして、「この地域で今後も子育てを指揮していきたいですか」という設問がありますので、その結果を申し上げます。</p> <p>先ほど申し上げたように前年度の結果が12月頃に公表されてるされるということで、令和2年度と少し古い数字になってしまいますが、令和2年度の結果といたしまして、先ほどの「この地域で今後も子育てを指揮していきたいですか」という設問に対しまして、「そう思う」、あるいは「どちらかといえばそう思う」と答えた保護者の割合は、全国で95.4%、県が96.0%、長岡市が97.3%となっております。さらに、このうち、「そう思う」と答えた保護者の割合については、全国では68.4%、県においては70.3%、長岡市は75.1%という結果でございました。</p> <p>これらの結果から、本市の子育ての環境支援の満足度につきましては、国や県と比較して、総じて高い結果であろうということで推測しているところでございます。</p> <p>続きまして戦略3についてご説明いたします。</p> <p>数値目標につきましては、毎年行われます全国学力・学習状況調査の「地域や社会を良くするために何をすべきかを考えたことがありますか」という設問を用いて、その回答割合を数値として掲げております。令和3年度の実績値は、小学校で55.9%、対当初値では6.2ポイントダウン、中学校では51.8%、対当初値では3.9%のアップとなりました。</p> <p>コロナ禍により、地域と連携した教育活動が制限され、地域の良さ、地域に住む大人の温かさに触れる機会が減りました。</p> <p>特に小学校においてはこれまで地域の大人と触れ合う田植えや芋掘りなどの体験学習、また町内会、コミセンなどの学校外の団体が企画する地域行事が縮小、中止となったことから数値が減少したものと考えております。</p> <p>一方の中学校では、各種イベントが縮小、中止となる中で、家族をはじめ、大人たちがコロナ禍においても努力し続ける姿を見て、自分にできることは何か、少しでも役に立てないかといったふうに考えるようになったためではないかと分析しております。</p> <p>引き続き学校教育だけでなく、地域と一体となったオール長岡で子供たちの教育活動を進めていく必要があると考えております。</p>
-----------------	--

<p>産業イノベーション課・課長補佐</p>	<p>今後の対応としましては、令和4年度から全市立学校に導入されたコミュニティ・スクール制度を活用することによって、職場体験学習や地域学習など、これまで学校内だけで進めてきた教育活動を、地域と連携したオール長岡での教育活動に変換することで、ふるさとを愛し、地域や社会のために何をすべきかを考えることができる児童の育成に努めて参りたいと考えております。</p> <p>続きまして戦略4の「起業支援センター長岡での支援による起業した件数」の説明に入らせていただきます。</p> <p>これに関しましては一般社団法人新潟県起業支援センターというところに、私ども起業支援に関する業務を委託しております。この起業支援センター、通称クリップ長岡と申しまして、市民センターの地下、NaDeC BASEの中にオフィスを構えてございます。</p> <p>このクリップ長岡ですけれども、いわゆる起業に関する相談窓口、起業創業に関する講演会、それから専門コンサルタントの派遣、それから起業に関するアドバイスの助言イベント、そうしたものを展開している団体でございます。</p> <p>この起業支援センター長岡での支援により、起業した件数といたしまして、令和3年度目標値、年間41件に対しまして27件という結果でございました。</p> <p>課題と原因分析でございますけれども、まず目標値を下回っているということでございましたが、やはり新型コロナウイルスの影響等々がございまして、やはり起業を先延ばしする、そうした兆候が見られたのかなと考えております。</p> <p>ただし、このクリップ長岡への起業の相談件数でございますけれども、令和2年度、年間通して277件に対しまして、令和3度は285件の相談件数がございました。わずかではございますけれども、起業に関する相談件数が増えております。</p> <p>ですので、若者を中心としました起業の機運の醸成というのはできているのかなというふうに考えております。</p> <p>今後の対応といたしましては、このクリップ長岡と引き続き連携をしながら、起業に関する様々な相談、セミナーや講演会の開催等を通じて、起業支援の取り組みを進めてまいりたいと考えております。</p>
<p>産業立地課・課長補佐</p>	<p>続きまして「地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業計画承認件数」についてご説明いたします。</p>

<p>農水産政策課・課長</p>	<p>始めに、地域未来投資促進法に基づく牽引事業計画とは、ですが、地域未来投資促進法に基づきまして県が作成しました基本計画、こちらに即して事業計画を策定して知事の承認を得ますと、税制優遇とか、金融支援等の各種制度を活用することができるというものでございます。</p> <p>当初値17件から、令和3年は29件、毎年平均で4件ずつ推移している状況でございます。目標値40件まであと3ヵ年、このまま同じ伸び率であれば、達成できるかなというところではあります、コロナウイルスの拡大の影響等がありまして企業活動が鈍化していると思われませんが、承認件数につきましては、概ね順調に進んでおります。</p> <p>今後もウイルスの感染状況、市場の動向に注視しまして目標達成に向けた企業支援の取り組みを進めていきたいと思っております。</p> <p>続きまして、「担い手農家の農地利用の割合」についてご説明いたします。</p> <p>長岡市において持続可能で活力ある農業の振興を進めていくために担い手の育成、それから確保、さらには担い手への農地集積、経営規模の拡大というものを進めていくという必要があります。</p> <p>そこで数値目標として、担い手農家の農地利用割合、いわゆる農地集積率でございますけれども、目標値として令和6年度までまでに70%に引き上げるという設定をしております。</p> <p>平成30年度の当初値64.5%に対しまして、令和3年度は66.9%。2.4ポイント増加となりましたけれども、目標値には3.1ポイント及んでいないという状況でございます。</p> <p>課題と原因分析でございますけれども、担い手農家の高齢化による担い手不足、今後、担い手農家への農地の集積集約化が思うように進まなくなるという可能性が危惧されております。</p> <p>そこで今後の対応として法改正によりまして、農地利用の将来像を描く地域計画というものがございますけれども、その策定が市町村に義務付けをされたところでございます。</p> <p>その策定過程におきまして、地域の農業者、それから関係機関と連携しながら、農地の集積集約化というところに向けた取り組みを加速していきたいというふうに考えております。</p>
<p>観光企画課・課長</p>	<p>続きまして戦略5の数値目標についてご説明させていただきます。まず、令和3年度の数値はいずれも当初数値を下回っております。</p>

	<p>特に長岡駅の乗車数は53.8%の減と大きく下回りました。これは新型コロナウイルス禍に起因するものと考えております。</p> <p>一方で、令和2年度と比較した場合、入り込み数は20.9%の増、長岡駅の乗車数は16.7%増となり、ワクチン接種や県内旅行支援などの感染対策を講じたことにより、コロナ禍からの回復の兆しが若干見られる結果となりました。</p> <p>今後の対応としましては、現在、平成30年度から令和4年度までを計画期間とする観光戦略プランの見直しに取り組んでおります。</p> <p>来年度以降は新たなプランに基づき、交流人口・関係人口の増加に向けた取り組みを推進していきたいと考えております。</p> <p>また、このプランの見直しに伴い、政策事業の成果をはかる数値目標についても変更する予定でございます。</p> <p>具体的には観光は産業の1分野であり、いかにして稼ぐかという視点が重要であると位置付けております。現在の施設イベントに何人来場したかという数値目標のほかに、地域経済の活性化の面を図る指標、例えば宿泊者数や、観光消費単価などの指標についても、新潟県と連携しながら検討し追加していきたいと考えております。</p>
<p>長寿はつらつ課・課長補佐</p>	<p>最後に、戦略6の数値目標の評価に関して、フェニックスネットの診療所、介護保険施設等の参加機関数と、市民の登録者数について、両方合わせて説明いたします。</p> <p>目標値に対し、達成または数は順調に増加しています。フェニックスネットは、日常の適切な治療やケアのほか、もしもの救急搬送時などにも役立つタブレット等を活用し、医療介護情報が共有できるネットワークのシステムであり、市民の安心な暮らしを支える取り組みです。引き続き、医師会等と協力し合いながら、関係事業所の集まる場を利用した参加呼びかけやイベント等での事業PRなど、多方面でのアプローチにより、関係機関、市民とともに参加登録の拡大を図って参ります。</p>
<p>事務局：政策企画課・課長補佐</p>	<p>今ほどの各課からのご説明に対しまして皆様の方からご質問やご意見等ございませんでしょうか。</p> <p>ご発言される場合は、お手元のマイクのグレーのボタンを押していただきまして、ご発言いただいた後、またそのボタン押していただきたいと思っております。皆様いかがでしょうか。</p>

委員	<p>毎年、長岡市に対して要望項目をまとめているんですけど、その中で、今日の戦略の中で言えば、やっぱり若者の地元定着ってということとか、それに向けて、企業をもっとPRしなきゃいけないといったいろんな話が出たり、交流人口の拡大だったり、いくつかいろんな議論が出るんですけど、そこの大元となるのがやっぱり人口減少の問題があって、きっと多分Uターン率とか、地元就職率って率で言うと、おそらくそんなに前と変わってないのかもしれないんですけど、分母が減るので、結局数が減って余計それが危機的状況になっているというそういう背景があるので、その中でそういう議論が出るんですけど、今回の市政要望の中に「選ばれるまち長岡」。これ実は、日報の大塚支社長から提案いただいたフレーズだったんですけど、そういう感じで、長岡に残ってもらう、長岡を選んでもらうような仕掛けが必要じゃないかという、そんな議論がありまして今、興味深く数字を見せていただいたんですけど。</p> <p>企業を知ってもらえば本当に残るのかということ、それもちょっと微妙なところもあって、そうなるやっぱりこう残るための何かしらの仕掛け、これはもちろん企業の努力も必要なんですけど。</p> <p>それこそオール長岡で言うならば、残るとこんないいことがあるんだよとか何かこうわかりやすいものがないと、子育ての話もこの中によく出てきたりもするんですけど、ネウボラという表現もあって久しぶりに聞いたんですけど、例えばそういうことを、こういうものですよってことを伝えてるのかどうかとか。もうちょっとわかりやすく、だから長岡に残りましょうねとか、もうちょっとお金の話が出れば一番いいのかもしれないんですけど、わかりやすいメリットを見せていくことが大事かなというふうには感じました。</p> <p>あと全然別件なんですけど、たまたま今日午前中に、造形大学のOBの企業経営者の方がいらっしゃって、4大学1高専せっかくあるんだから、合同の新入生の歓迎会をやりたいというそういう提案だったんですね。</p> <p>これ柏崎はすでに産業大と工科大でやってるそうで、最初は有志で立ち上げたんだけど、行政なり、商工会議所が支援をして、柏崎ってこんないいところですよみたいなPRと、あとは横のネットワークを作ることにより地元にも残ってもらえるような施策をやってられるというお話も聞かせていただいたんで、今日そういう関係の学校の方もお集まりなので、いい企画だなと思ってそういう何か具体的なことをやっていく中で残ってもらう施策をみんなで考えていければ</p>
----	--

事務局：政策企画 課・課長補佐	<p>なというふうに改めて感じました。</p> <p>ありがとうございました。他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>やっぱり都市間競争なんで、その中で長岡に住むことを選んでもらうっていう。</p> <p>人によってそれは子育てのしやすさだったり、魅力的な企業だったり、文化や風土だったりいろいろあるわけですけども、やっぱり都市間競争だっていうことを頭に置くと、やっぱりインセンティブ的なものを、行政の方であった方がいいんじゃないかなというので、ちょっと具体的なこと言えないんですけども、そのように感じて発言したところです。</p>
事務局：政策企画 課・課長補佐	<p>ありがとうございました。もう1方、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>うちは創業支援の中でも力を入れてるんですけども、やはり一番の問題ですけど、魅力あるまちづくりという戦略1のところ、やっぱりちょっと一歩新潟を出ちゃうと、長岡の良さが伝わってこないといえますか、もちろん日本酒とか花火ってのはみんな知ってますけれども。私は転勤族でいろんな都市行くんですけども、長岡ってどんどころって結構聞かれるんですね。そういうときにすごい悔しい思いをするんで、もうちょっとその県外向けのPRだとか、あるいは他の県と何か連携した共同イベントとか、あと連携都市を作ってそこと一緒に何かやっていくとか。あとちょっと創業にネックになったのはやっぱり冬の悪天候もあると思いますので、大雪のマイナスイメージをプラスに逆転するようなキャッチみたいなのですね。例えばなんですけども、何かそういう工夫があったらいいなというふうに思っている次第です。</p>
事務局：政策企画 課・課長補佐	<p>ありがとうございました。他にいかがでしょうか。</p> <p>一旦こちらの議事の方は閉じさせていただきます、次の議題の方に移らせていただきます。また後程皆さんの方からご意見をいただきたいと思います。</p> <p>続きまして議事の2になります。地方創生関連の交付金がございます。</p>

<p>事務局：政策企画課・課長</p>	<p>して、こちらの効果検証につきまして、またご説明の方させていただきますと思います。</p> <p>それでは地方創生推進交付金を活用した事業の実施状況についてご説明いたします。</p> <p>地方創生推進交付金とは、地方版総合戦略に位置付けられ、地方公共団体の自主的・主体的な取り組みで先導的な事業を国が支援するものです。事業費に対し、国から2分の1が補助される制度となっており、具体的なKPIを設定しまして、PDCAサイクル等により、事業の成果について効果を検証しております。</p> <p>長岡市におきましては地方創生推進交付金を活用しまして、現在2つの事業を実施しております。</p> <p>交付金を活用している2つの事業につきまして、「NaDeC構想による産業創出と人材育成」については産業イノベーション課の方から、それから「高度外国人材を生かした未来産業未来産業創出システムの構築」については産業立地課の方からご説明いたします。</p>
<p>産業イノベーション課・課長補佐</p>	<p>それではまずNaDeC構想の方からご説明させていただきます。</p> <p>事業の概要といたしましては、長岡市内の大学、そして高専の持つ知見と市内企業が持つ技術、これを融合させて新製品・新産業の創出、そしてベンチャー企業の育成であったり、起業・創業であったりというものを進めていくという、長岡版イノベーションを我々標榜しておりますが、この長岡版イノベーションの実現を目指すために、平成30年度、2018年度からNaDeC推進コンソーシアムというのを立ち上げまして、NaDeC構想に基づく、産業振興・人材育成事業を展開しております。</p> <p>NaDeC構想、最初は3大学1高専でございましたが、平成31年度、2019年度に崇徳大学様もご参画いただいて、現在は4大学1高専、商工会議所、長岡市に連携による事業となっております。</p> <p>令和3年度の総事業費はおよそ9,400万円でございます。そしてこの事業に関しましては以降のページに記載させていただいてる事業になります。1つ1つの詳細はちょっと割愛させていただきますが、イノベーションの推進、起業創業支援、NaDeC構想の具現化、インターンシップの推進、地元就職UIターンの支援、そして、地域技術の高度化促進、製造業の技術の高度化、そしてものづくりのまち長岡の産業活性化、そしてそのものづくりを担う未来人材の育成、そ</p>

<p>産業立地課・課長</p>	<p>して製造業等における I o T の導入支援、こうした様々なジャンルの事業を展開させていただいております。</p> <p>この事業に関しまして評価指標として設定させていただいた K P I は 4 つございます。</p> <p>まず 1 つが、支援事業を通じた企業者数、先ほども総合戦略の部分でご紹介させていただきましたが、新潟県の起業支援センター クリップ長岡、長岡市、そして市内の商工会議所さん金融機関等々で、起業創業支援ネットワークというものを作っております。</p> <p>こうした体制の中で支援事業をさせていただいた中で、賛同した起業家数、4 大学 1 高専の卒業生の皆様の地元長岡での就職率、そして、介護であったりとか、I o T であったりとか、ロボットであったりとか、そしてバイオ関係。こうした中で、産官学連携でいろんな事業をトライアルしていくイノベーションハブ。そして、産学官連携補助金。それから 3 大学 1 高専、今は 4 大学 1 高専ワンポイント補助金。産学連携でいろんな技術開発をしていくための事業に対する補助金、こうしたものにより産学連携に取り組む企業数、そして、先ほども申し上げましたイノベーションハブ等々により、産学連携活動による解決策、ソリューションを提示できた課題数、この 4 つを K P I と設定させていただいております。</p> <p>令和 3 年度の指標に関しましては、この 4 つのうち、3 つ、目標値を達成しておりますが、上から 2 番目、4 大学 1 高専卒業生の地元就職率に関しましては、目標値 1.31% に対しまして、マイナス 1.26% という結果になっております。</p> <p>この地元就職率、長岡に学生時代過ごされた学生さんが長岡に就職する就職率の低下。この要因に関してはいろいろ考察はできるかと思えますけれども、新型コロナの影響で、長岡地域の有効求人倍率が 1% 下回った状況であったというようなところの中で、市内の企業が新卒の採用を控えたりと。またコロナ禍の中、他の地方から長岡にいらっしゃった学生さんの U ターン志向、そういったものが高まり、こうした様々な要因が考えられるんじゃないかなと考えております。</p> <p>今後こういったものの対策に関しましては、この N a D e c 構想の推進事業の中でもございますけれども、インターンシップ、U I ターン支援事業、こうしたものをさらに推進強化していくと。いうことで対応していきたいと考えております。</p> <p>続きまして、地方創生推進交付金の「高度外国人材を生かした未来</p>
-----------------	--

<p>補佐</p>	<p>産業創出システムの構築」になります。</p> <p>本事業は、事業の概要の方に記載させていただきましたが、市内4大学1高専15専門学校、こちらにおいて学ばれます留学生の市内企業への就職、それと海外提携校を持つ大学高専等からの市内企業へのインターンシップを促進して、高度技術を持つ人材の定着を目指すものであります。</p> <p>そのため市では、市内企業等、産学官金が参画する長岡グローバル人材活躍推進協議会、こちらを組織しまして、情報の共有と目標の確認を行っているほか、外国人材活用支援アドバイザーによる市内企業への見学活動、こちらによります市内企業への受け入れ環境の整備を進めるということで、多様な人材が活躍して企業の経営基盤の強化に繋がるダイバーシティ化を促進しております。</p> <p>総事業費と国からの交付金につきましては、真ん中よりちょっと上のところをご覧ください。</p> <p>その下、重要業績評価指標KPIの方になりますが、外国人材の市内雇用者数、こちらは新潟労働局のデータになりますが、コロナ禍の渡航規制がございまして、令和3年については減少になっております。このデータには、技能実習や特定活動で入国在留される方も含まれておりますが、本事業で対象とします高度技能を持つ外国人の雇用につきましても、コロナ禍以降、順次増加するよう活動しております。</p> <p>今年度につきましては、モンゴル高専から10名のインターンシップ学生が渡航するほか、来年度、ホーチミンの方の工科大学から10名の学生がインターンシップを実施する予定となっております。</p> <p>2番目に書かれてあります市内企業の留学生のインターンシップ受入数につきましても、令和4年度には市内大学等の留学生の市内企業へのインターンシップとモンゴル高専からのインターンシップ制度と合わせまして、目標を達成するのではないかとということで見込みを立てております。</p>
<p>事務局：政策企画課・課長</p>	<p>続きまして、企業版ふるさと納税についてご説明いたします。</p> <p>この制度は、国が認定した地方公共団体の地方創生の取り組みに対して、市外に本社がある企業が寄附を行った場合、法人関係税から税額控除するものでございます。</p> <p>令和2年度から制度が大幅に見直され、企業が寄附を行った場合、最大で寄附額の9割が、軽減されることになりました。</p> <p>また、総合戦略といった包括的な取り組みも、国から認定されるこ</p>

<p>事務局：政策企画 課・課長補佐</p> <p>委員</p>	<p>ととなり、幅広く寄附を受け入れられるようになってございます。</p> <p>長岡市では、第2期長岡版総合戦略に基づく事業が寄附の対象となっております。令和3年度は9社の企業様から、計390万円の寄附をいただいております。</p> <p>寄附を受けた事業については、N a D e C構想が230万、米百俵プレイスマライエ長岡整備事業に対して110万、介護人材確保支援事業に対して50万円となっております。</p> <p>こちらの資料にはございませんが、企業様の地域別でありますと、東京都が6件、190万、48%です。続いて新潟県が2件、石川県が1件、それぞれ100万円ずつ、26%ずつという割合となっております。</p> <p>今後は、長岡市にご縁のある、こういった企業様や、市内に営業所を持つ企業様に対して、長岡市の地方創生に係る取り組みを、引き続き応援いただけるように、PR活動などを行い、寄附額を増やしていきたいと考えております。</p> <p>今ほどの各課からのご説明に対しまして、ご質問あるいはご意見、ございませんでしょうか。</p> <p>コロナ禍もありまして、活動がうまくいかない部分もあったかと思うんですけども、課題としてはやっぱりその企業さん側、産業界との連携っていうところが、まだまだちょっと弱いところがあったかなというふうに認識しています。</p> <p>今年度マッチングイベントがありまして、そういった取り組みが進んでおりますけれども、まだまだ地元企業さんが入ってくるような取り組みというのは弱いのかなと感じております。</p> <p>本学は就職は地元の方に、あまり貢献できていない。全国から学生が来ておりますので、結局卒業すると首都圏や地元に戻るところが多くて、長岡市に残るというところは難しい状況もあります。</p> <p>そういう面ではやっぱり長岡市さんの事業を、十分に発信していただくということは必要なのかなというふうに思っております。</p> <p>あと、留学生関係の話もありましたけれども、本学も留学生は非常に多く来ておりますけれども、ただ日本語ができない学生が結構いまして、長岡の地元の企業さんは英語で対応していただくようなことがなかなかできないので就職は正直難しい、大変なのでそういった面で企業さんへのサポートも少し考えていくっていうのは1つあるかと思えます。</p>
--------------------------------------	---

事務局：政策企画 課・課長補佐	<p>ありがとうございました。他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>本校も日本語が必ずしも流暢ではないという留学生が相当数おります。学生のサポート等を交えながらですけれども、授業にはある程度ついていけます。</p> <p>ただやっぱり実際に就職するっていうことになると、まわりの人たちが、日本語だけでコミュニケーションしてる環境の中に入って生活をする、仕事をするというのはおそらく、相当ハードルが高いんだろうなと思うんですね。</p> <p>人口減少という事柄への対応策として当然、その少子化対策等々で、あえて申し上げれば日本人を増やすという策もさることながら、外国人人材をいかに導入して活用していくかというそういうベクトルもあってしかるべきだと思うんですけど、それへの対応策として、やはりその受け入れ側の体制をまさにグローバル化する。</p> <p>グローバル人材を受け入れるためには経営の方もグローバル化しなければ受け入れられないというのは、これはある意味当たり前のことだと思いますので、日本語ができないと雇うのはどうもというふうにおっしゃる企業さんが、少しでも減っていくということも、長岡市内で、その労働人口を増やしていく、留学生を定着させて労働人口として活用できるようにしていくっていう方策として1つ大事なのではないかなと思います。</p>
事務局：政策企画 課・課長補佐	<p>ありがとうございました。他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>本学におきましても入学者、県外から多数入学していますし、卒業時には、大多数の学生が県外に出ているという状況は、長岡技術科学大学さんとは状況が同じなのかなというところで、同じになるんですけども市内企業の魅力等、学生に引き続き周知していかなければならないというところが1点あります。</p> <p>今の点とは別件なんですけれども、総合戦略や資料11ページにありましたN a D e C構想の指標の1つでありました、起業者数というところで目標値掲げられておられるんですけども、起業した人数っていうの明記あるんですけども、こういった起業された方が、その後</p>

<p>事務局：政策企画課・課長補佐</p>	<p>継続して事業が運営できているかどうかという状況を、ちょっと把握できれば、さらに起業を目指してる方、継続的に事業が、やっていけるんだというところを見せられるとさらに人数も増えていくのかなというような気がしますし、逆にこれが継続できていないという状況が見られると、またさらなる支援等を考えていかなければいけないというところが考えられるのかなというように思いました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>今の件で産業イノベーション課さん、その後の数字とかがって捉えていますでしょうか。</p>
<p>産業イノベーション課・課長補佐</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>起業した方のその後の人数ですね。そこに関して正直、定量的な把握というのはしておりませんが、例えばその長岡市の支援を受けて、起業された方に関してはフォローアップといたしますか、そういった施策プログラムというのはやっております。だからそういった中で、我々のこういったフォローアップのイベントなり、そういったものに集まっていたらの方々に関しましては、そういった状況とかを確認することができるわけなんですけど、そうでない方に関しては、やはり正直どうなっているのかなというところは正直なところあるかと思えます。なので、当然1人1人が大切な起業者といたしますか、長岡の産業を支える人材でありますので、そういった視点での動きを我々としても考えていきたいと思っております。</p>
<p>事務局：政策企画課・課長補佐</p>	<p>それではもう一方お願いしたいと思えますけれども市内の企業さんと、いろいろ機会ある金融機関の方から、いかがでしょうか。</p> <p>企業さんとの付き合いの中でお話しできるような話だとか、外国人材をすべての企業さんが採用されてるとは思いませんけれども、日本人の従業員の数の変遷だとか、最近のコロナ以降に向けた動きとか、その辺がありましたら何か情報提供いただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今のご質問に対して、明確にお答えできる資料を持っておりませんので、はっきりとお答えはできませんが、各金融機関ありますが、弊行においてはですね、人材派遣紹介会社でもございます。</p> <p>そこで連携もできると思えますし、また意見交換ですね、各ブロック、長岡だけでなく他の地区の状況も踏まえて、それを還元して、そ</p>

事務局：政策企画 課・課長補佐	<p>れを参考にさせていただく。そういう役割も持ってると思いますので、そこは我々も注力していきたいというふうに思っております。</p>
	<p>ありがとうございました。また折々に応じてですね、情報提供をいただきたいなと思います。</p> <p>それでは次の議題に移りますけれども、一応用意した議事はこれで終わりになりますが、せっかくの機会でもございますので、皆さんの方から何かご意見等ありましたらお願いしたいなと思いますけれども、本日の議題だけに関係せずに市政全般で、ご意見等がございましたら、ぜひご発言いただければなと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>働く者の立場から、ぜひ働きやすい雇用状況といえますか、職場の条件ということで、ワーク・ライフ・バランスの推進ということで、この間ずっとお願いをしていたと思います。</p> <p>長岡市さんにおかれましては、働き方プラス応援事業等と様々な施策をされておりまして、働きやすい職場づくりということにご協力いただいていると思っております。</p> <p>子育てに対する要望とか、そういった中でも、特に子育てしやすい働き方ということがありますので、それと併せまして、若者にとっても働きやすい魅力ある職場になりやすくなると思っておりますので引き続き支援をお願いしたいなというふうに思います。</p> <p>あと私どもの方では新潟県全体なんですけれども、有給休暇の取得率が非常に少ないという状況がありまして、労働時間が全国平均より長いということもありますので、併せまして、その多くの一つの目標として、年次有給休暇の取得率の向上というところの取り組みをしますので、併せて協力をお願いしたいなというふうに思います。</p> <p>最後にもう1点なんですけれども、これ全体的な中身の中で、当初の計画を立てたときに、数値の目標もすごく大切だけれども、数値にあらわれない目標も大切だということで、「政策5原則プラス1」の「⑥志の応援プラス1」ということで、数値目標にあらわれない、そういった市民が参加する取り組みを強化していきたいというようなお話もあったと思いますので、そういったところの評価についても、また次回のときに出していただければありがたいなと思いますのでよろしく願いいたします。</p>
事務局：政策企画	<p>ありがとうございました。他に、いかがでしょうか。</p>

課・課長補佐	<p>それではその他としまして、現在の国の動きにつきまして情報提供を含めてご説明の方させていただきます。</p>
事務局：政策企画課・課長	<p>現在、国の方では、現行のまち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改定しまして、デジタル田園都市国家構想総合戦略として、いわゆるデジ田構想の中長期的な基本的方向を掲示する戦略の策定を年内に行うことと予定しております。</p> <p>これに伴いまして、国は地方版総合戦略についても、国の総合戦略を踏まえて、改定を求めるといこととしております。</p> <p>しかし、現時点では詳細な内容が示されておりませんので、また引き続き国の動向を注視しまして、随時ご報告させていただきたいと考えております。</p>
事務局：政策企画課・課長補佐	<p>また情報が入りましたら、皆様の方に周知できる方法を使いまして、ご連絡の方させていただきますと思っております。以上で、用意した議題は終わりになります。最後に地方創生推進部長の竹内から一言ごあいさつをさせていただきますと思います。</p>
事務局：地方創生推進部長	<p>1時間の貴重なお時間ありがとうございました。</p> <p>今ほど評価についてご意見をいただきましたので、また来年度以降の事業には、今いただいたご意見を必ず生かせるように検討して参りたいと思っております。</p> <p>最後に政策企画課長が説明をしました通り、国の方では、形はちょっとデジタル田園都市国家構想の総合戦略というふうに様相を変えていくかもしれませんが、必ず地方自治体にこういう計画を作って、必ずその計画を今日お集まりいただいた皆様からご意見をいただいて、評価結果のKPI等も公表しながら進めることということが、各種補助の制度を活用するための条件というふうにしておりまして、今後とも皆様からはご意見をいただきたいと思いますと思っております。</p> <p>本来であれば、コロナ禍でなければいろんな分野の専門の皆様がいらっしゃいますので、折を見てご挨拶に伺ったり、ご相談に伺うべきところでしたが、今まで、うまくできておりませんことをお詫び申し上げまして、また次年度以降、ウイズコロナなのかポストコロナなのか、新しい時代に向けましては、今日政策企画課を中心にご挨拶させていただいて名刺交換させていただいておりますので、今日一緒に来ている各課ともまたそれを共有させていただいて、様々な分野で、ま</p>

<p>事務局：政策企画課・課長補佐</p> <p>ミライエ長岡開設準備室・企画担当課長</p> <p>事務局：政策企画課・課長補佐</p>	<p>た皆様の知見をいただき、政策を推進させていただきたいと思っておりますので、今後ともどうか、お忙しい中大変恐縮ではありますがご意見くださいますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>最後になりますけれども、ミライエ長岡開設準備室の松尾課長にお越しいただいておりますので、こちらのパンフレットを皆様にお配りしますのでせっかくですので、PRをお願いしたいと思います。</p> <p>せっかくの機会なのでPRさせていただいて、来年の夏に一部先行オープンということで、今、工事をしております。</p> <p>旧大和長岡店の方ですね、こちらの方先行オープンいたします。</p> <p>互尊文庫が移転しまして、図書館の機能を中心に、市民センターの地下にあるNaDeC BASEを移転して、またその図書館の中で、学校教育とは違う子どもの新しい学び、これからの未来を生き抜いていくための新しい学びをする場を作って参ります。</p> <p>関係機関の皆様にもなるべくコンソーシアムですとか、金融機関の皆様にも再開発事業に関わっていただいておりますが、引き続きご協力いただきまして、ぜひ来年のオープン、皆様と一緒に迎えたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。</p> <p>本日、皆様にお集まりいただきまして貴重なご意見いただきました。また、部長申し上げました通り、今後の政策に生かして参りたいと考えております。</p> <p>またこの機会だけじゃなくて、私ども政策企画課も名刺交換させていただきましたけれども、いろんな場面でまたお世話になるかと思っておりますので、またご相談をさせていただければと思います。引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>これをもちまして令和4年度長岡市地方創生推進会議の幹事会を閉会させていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
<p>9 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次第、出席者名簿 ○ 資料（長岡版総合戦略の進捗状況及び地方創生関連の交付金等の効果検証） ○ 第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 	